

令和4年度 横浜市立篠原小学校「交通バリアフリー教室」の実施報告

はじめに

- 横浜市都市整備局都市交通課は、国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局などと連携し、横浜市立篠原小学校で「交通バリアフリー教室」を実施しました。
- 篠原小学校は、東急東横線の妙蓮寺駅や横浜市営地下鉄の新横浜駅を最寄り駅とし、周囲は閑静な住宅街となっています。

1 交通バリアフリー教室の全体概要

【日時】令和4年12月15日(火) 10:35~12:10

【対象】篠原小学校 4年生 107人

【内容】①タクシー・バスのバリアフリーに関する座学

- ②タクシー車両を活用した車いす乗降体験・介助体験
- ③車いす乗車体験・介助体験

【協力】国土交通省関東運輸局神奈川運輸支局
一般社団法人神奈川県タクシー協会
神奈川都市交通株式会社



©株式会社パスコ ©ジオテクノロジーズ株式会社
【学校へのアクセス】
東急東横線妙蓮寺駅から徒歩 12分

- 交通バリアフリー教室は、クラスごとに分かれ、知識を学ぶ“座学”と、実際の車両や車いす等を使った“体験”で構成されています。
- 座学の時間は、横浜市都市整備局都市交通課が担当し、バスのバリアフリーや、ユニバーサルデザインタクシーについて、また、関連する知識を学んでもらいました。
- 体験の時間では、タクシー事業者である神奈川都市交通株式会社の協力のもと、2台のユニバーサルデザインタクシー(UDタクシー)を校庭に用意し、機能を間近で見たり、実際に車いすに乗って車いすの操作や乗降を体験してもらいました。

※ 新型コロナウイルス感染症拡大防止に十分留意して実施しました。



全体説明



UDタクシー乗降体験

2 タクシー・バスのバリアフリーに関する座学の内容

- 座学では、「誰でも自由にお出かけできる交通バリアフリーのおはなし」と題した授業を行いました。
- バリアフリー対応のバスのことや、同日に乗車体験するユニバーサルデザインタクシーのことを、写真やクイズを交えながら説明するとともに、このような身近な乗り物がどうしてそのように作られているかを考えてもらい、バリアフリーやユニバーサルデザインの考え方について学んでもらいました。
- バスやタクシーなど公共交通におけるバリアフリーの現状に加え、公共交通の現状(利用者数の推移等)もお話しし、バスの利用者が減少してしまっている理由や、このまま減少してしまったらどうになってしまうのか、考えてもらいました。「バス路線がなくなってしまう」といった意見がありました。
- 様々な移動手段がある中で、それぞれの良い点・あまり良くない点を理解し、マイカーに頼りすぎず、目的や行き先に応じて公共交通をかきこく使いわける「モビリティマネジメント」の考え方についても学んでもらいました。

おわりに

- 今回の交通バリアフリー教室で実際のユニバーサルデザインタクシーに乗って見て、スロープをはじめとしたバリアフリーの仕組みに驚いている児童が多くいました。また、車いす乗降体験・介助体験を行い、車いすの方の大変さや、介助の難しさを感じていたようです。
- 身近な公共交通であるバスやタクシーにおいて、障害者はもちろん、誰もが同じように乗ることができると理解してもらいました。また、車いすの方や身体の不自由な方がいた時には手伝いたいという気持ちを持った児童も多くいました。
- 交通バリアフリー教室を通して知ったこと、体験したことがきっかけとなり、バスやタクシーなどの公共交通を上手に使うとともに、普段の生活の中で、困っている人がいたら積極的に手助けを行うことを期待します。

■ 座学に使った教材



■ 座学の様子

